



「月面 X」を見よう

天空が広がるうぶやまの高原には初夏の爽やかな風が吹いています。梅雨前で、天候が不順でくっきり晴れた星空は望めませんが、それでも、わずかの晴れ間に期待しましょう。

指導コラム (天体観・見どころ)

6月22日(月)は今年3回目の「月面 X」、月面「LOVE」が見られます。上弦の月の頃、月面の欠け際に太陽光線の当たり方の関係でクレーターの壁が創る模様が文字の様に見える現象です。

「月面 X」は 2004 年にカナダのアマチュア天文家が発見して以来話題になりました。月面の 3 つのクレーター(ラカイユ、ブランキヌス、ブルーバツハ)の壁が創る地形に太陽光線の当たり具合で「X」の文字が浮かびあがります。上弦の月の時しか見えないのですが、月が「秤動」という微妙な動きをしているので、上弦の月の頃でも見えないこともあります。今年は 4 回ほど見られるようです。日没頃の 19 時 40 分の前後 1 時間程度見ることができます。(次ページへ続く)

観察対象



月面 X



月面 X が見えるしくみ

また、2018年3月に愛媛県の実験愛好家竹尾昌さんによって「月面LOVE」が確認され、また撮影されました。この月に米航空宇宙局NASAの「今年の実験写真」にも選ばれました。今年の後、2回観察できます。観察には実天望遠鏡が必要になります。天文台の大型望遠鏡で見ると、迫りがあります。ぜひ、ご覧になってください。



月面Xと月面LOVE (2021年2月19日：うぶやま天文台)

今年の後、1回の「月面X」の期日と時間

12月16日 19時40分頃の1時間前後